RENGO - NEWS

連合長崎 速報

2024年 No.347 新春号
長崎市桜町9-6
長崎県勤労福祉会館内
TEL (095)826-8905
FAX (095)826-8950
2024年1月1日
発行責任者 西野輝夢

連合長崎
会長 **髙藤　義弘**

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

旧年中は、連合長崎の諸活動に絶大なるご理解とご協力を頂きまして、感謝を申し上げます。

本年におきましても、昨年10月の第29回定期大会で確認頂いた新役員の皆さんと共に、「働くことを軸とする安心社会」の実現に向け邁進して参りますので、旧に倍するご支援・ご協力をお願い致します。

新年にあたり、３点について申し上げます。

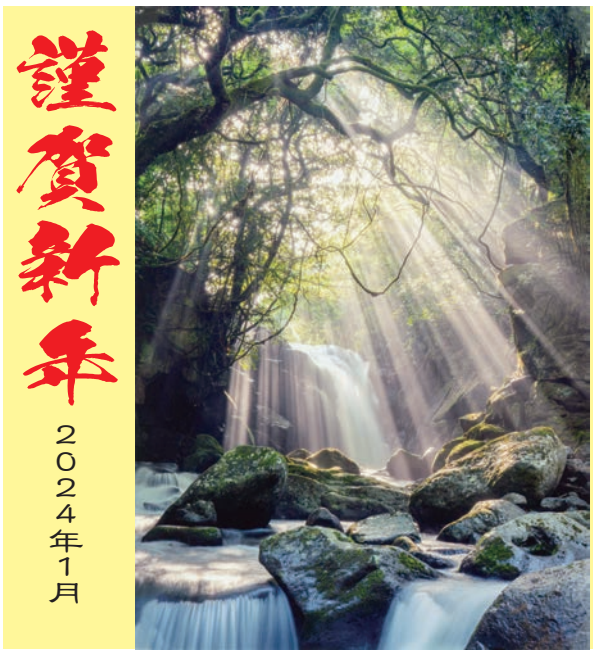
はじめに、2024春季生活闘争です。私たち労働者は、依然として物価高・円安・コロナ禍の影響など三重苦の中にあります。その影響は、中小企業労働者や非正規雇用で働く方など、より弱い立場の人ほど多く受けています。

2023春季生活闘争では、その改善を図るために各産別単組が奮起し、約30年ぶりの水準となる「賃上げ」を果たすことが出来ました。しかし、全体の賃上げは高まったものの、中小の賃上げは低位にとどまっています。中小企業ほど人手不足が深刻で、適正な価格転嫁の遅れにより企業収益を圧迫していることが要因だと考えています。

従って、今年の春季生活闘争は、労務費を含む適正な価格転嫁を推進するなど、格差是正を含めた継続的な賃上げが出来る環境を、政策面と労使協議の両面でつくらなければなりません。

2024春季生活闘争は、日本の実質賃金がプラスに転じる「好循環のステージ」に変えるためにも、重要な位置づけにあります。全員で力を合わせて、今次闘争の賃上げ５％以上を勝ち取りましょう。

次に、政策実現に向けた取り組みについてです。本年は、第50回衆議院議員選挙の施行が予想されます。腐敗した自民党政権に「ＮＯ」を突き付けるために、何としても勝利を果たさなければなりません。



連合長崎の推薦候補者は、１区「西岡秀子」氏、２区「山田勝彦」氏、３区「末次精一」氏です。今回の闘いは、新長崎選挙区での闘いになりますので、これまで以上にきめ細かな連携が必要になります。

昨年の統一地方選挙で皆さんが出した力を、今回も頂きますよう宜しくお願いします。そして、労働者・生活者が安心して暮らせる社会をつくっていきましょう。

最後は、平和の取り組みについてです。世界情勢は、依然として続く「ロシアとウクライナ戦争」に加え、中東の「ハマスとイスラエル抗争」、そして北朝鮮の軍事衛星の打ち上げ等、世界平和が脅かされています。特に、紛争では、多くの一般市民が犠牲になっています。この紛争が続くと核兵器使用の危険性も高まってきますので、早期の停戦を願うばかりです。

連合長崎は、被爆地長崎の労働組合として、連合本部と連携し戦争のない世界と核兵器廃絶の取り組みを強化するとともに、その想いを世界に広がるよう発信力を強めて行きます。

2024年が、組合員の皆さんにとって、ご家族ともに幸多い年となりますよう祈念致します。

日本労働組合総連合会
会長　**芳野　友子**

「はたらくのそばで、ともに歩む」

謹んで新春のお慶びを申し上げます。

日頃より連合運動へのご理解とご支援をいただき心より御礼申し上げます。

４年あまり続いたコロナ禍は徐々に治まり、５類感染症に移行して初めての新年を迎えました。コロナ禍の経験を通して、世の中は、たくさんの方々が支え合いながら成り立っていることや、危機に直面したときに必ずそれに立ち向かう方々がいることを、実感をもって再認識いたしました。「はたらくのそばで、ともに歩む」との連合の新しいキャッチコピーとともに、新たな気持ちで働く者に寄り添う連合としての挑戦をし続けて参ります。

昨年、30年ぶりの高水準で賃上げが実現しましたが、実質的にその効果が霞んでしまうほど、いまも物価高が継続しています。持続的な賃上げが可能となるよう経済社会のステージ転換を図るためには、サプライチェーンにおける労務費を含む価格転嫁は必須です。そのためにも「価格転嫁、価格交渉、環境整備」を強く訴えて参りたいと思います。

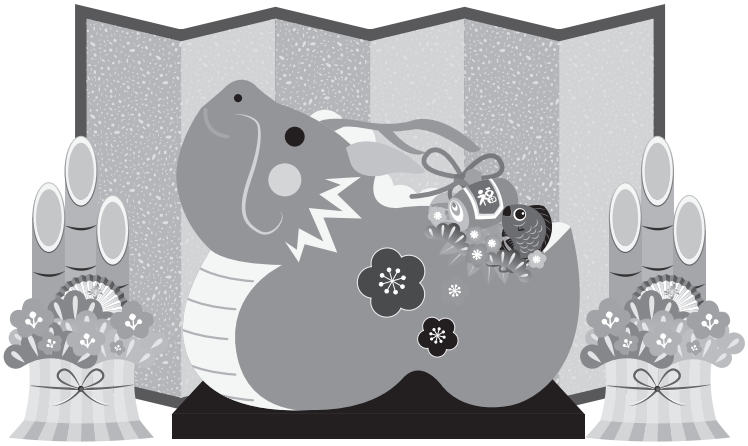
また、ロシアによるウクライナ侵略はいまだに継続しています。中東では、パレスチナのガザ地区を実効支配するハマスとイスラエルとの戦闘が勃発し、1万人を超える市民が命を落としています。どちらの地域にも国際労働運動を通じて連帯する仲間が大勢います。「平和なくして労働運動なし」との信念は、70数年前の戦禍を経験した私たちが、常に労働運動の根幹に据えてきたゆるぎないものでしたが、時を越え、地域を越えて今もなお脅かされる脆さもあることを痛感しています。同じ空の下、戦火に不安を抱えながら命をつないでいる仲間の安全を祈りたいと思います。そして、改めて「平和なくして労働運動なし」との思いを強くしたいと思います。

今年は、連合における「ジェンダー平等推進計画フェーズ１」の最終年です。この計画は、連合本部、地方連合会、構成組織における女性役員の選出や意思決定機関への参加機会の確保、活動スタイルの点検や見直しなど、ジェンダー平等実現のための足元をしっかり固める基礎的な目標を定めたものです。日本のジェンダーギャップ指数は、125位と低迷しています。世界はずっと前に進んでいるということをより一層自覚し、ジェンダー平等をめぐる社会の仕組みを変革していく努力をして参ります。

世界では、政労使の三者が対話を通じて社会課題を解決することがスタンダードとなっています。政府や使用者だけが社会をけん引するのではなく、生活者としての労働者、あるいは使用者の最も身近なステークホルダーとしての労働者である私たちが、政府や使用者とも対話を通じて、社会を構成する責務を果たして参りたいと思います。

ジェンダー平等や社会的な対話の促進は、あらゆる連合運動の基盤となる取り組みです。これまでの取り組みを踏まえながら、「働くことを軸とする安心社会　－まもる・つなぐ・創り出す－」という連合ビジョンに加え、「はたらくのそばで、ともに歩む」のキャッチコピーとともに、多くの皆さまのご期待に沿うことができるよう、スピード感を持ち、他人ごとではなく「ジブンゴト」として課題に向き合いながら努力して参ります。

本年が皆さまにとって実り多い一年となりますことを祈念いたします。



立憲民主党
長崎県総支部連合会
代表 **山田　朋子**

新年あけましておめでとうございます。輝かしい新年をお健やかにお迎えのこととお喜び申し上げます。

日頃よりの立憲民主党長崎県連へのご支援・ご協力に心より感謝申し上げます。

さて、昨年春に実施されました「統一地方選挙」において、連合長崎からご推薦をいただいたすべての候補が、皆さま方の力強いご支援を賜り、「当選」を果たすことが出来ましたことに、心より厚く、厚く感謝を申し上げます。

それぞれにいただきました任期をご負託にしっかり応えていくべく、全力で取り組んで参ります。

合わせて、10月におこなわれました「衆議院長崎県第４区補欠選挙」において、私どもの公認候補でありました「すえつぐ精一」に対し、連合長崎を中心に各政党、団体の皆様方に昼夜たがわず最大限のご支援をいただきましたことに、心より、感謝申し上げます。結果と致しましては、私共、県連の力不足により、ご期待に沿うことが出来ず、大変申し訳なく思っております。

来るべく第50回衆議院議員選挙に際し、「２区山田勝彦」「３区すえつぐ精一」に「連合長崎のご推薦」を既にいただいておりますことに、重ねて心から感謝を申し上げます。ご推薦を力に完全勝利を目指し挙党一致体制の下、党勢拡大をおこないながら、次なる闘いに備えて参ります。本年一年も何卒、宜しくお願い申し上げます。

結びに、連合長崎の更なるご発展と連合長崎に集うすべての皆様のご活躍とご健勝を祈念申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

国民民主党
長崎県総支部連合会
代表 **西岡　秀子**

初春のお慶びを申し上げます。

日頃より髙藤会長様をはじめ、皆様には大変お世話になっております。

昨年、30年ぶりの高水準の賃上げが実現しましたが、それを上回る物価高騰により、実質賃金は下がり続け、国民生活・事業経営・地域経済が大打撃を受けています。国民民主党は、生活減税をはじめとした「国民に直接届く緊急経済対策」を政府に申し入れました。地方の日々の生活に直結するガソリン代、電気代等の値下げについては、他党に先駆けて具体策を提案し、その一部を実現に結び付けました。引き続き、公約として掲げたトリガー条項凍結解除実現に取り組みます。いま必要な事は、可処分所得を増やす政策です。教育・科学技術予算を倍増し、国際競争力を強化すると共に、出産・子育て・教育費の負担軽減を実現します。またデジタル・グリーン化による大きな社会変革の中で、コロナ禍を経て、社会や雇用におけるセーフティネットの強化が急務です。

所属する委員会で各大臣に対する多くの質疑を行うと共に、政調会長代理として、党の法案審査や政策立案に取り組み、212臨時国会では令和5年度補正予算案について、党を代表して、本会議登壇し、岸田総理に質問しました。その中で、核の脅威が高まる中で、唯一の戦争被爆国として核兵器禁止条約第2回締約国会議にオブザーバー参加すべきである事を総理に問いました。

今後とも働く事を軸とする安心安全な社会実現の為に、皆様と共に、その課題解決に全力で取り組んでまいります。連合長崎の益々のご発展と新しい年が皆様にとってより良き一年となります事をお祈りして、年頭のご挨拶と致します。

社民党長崎県連合
代表 **村上　信行**

皆様には健やかに新年をお迎えのことと存じます。

昨年の統一自治体選挙におきましては、社民党候補者の当選へむけて、力強いご支援・ご協力を賜りまして本当にありがとうございました。おかげさまで、県議・市議・町議の全員当選を果たすことができました。あらためて厚く御礼申し上げます。

コロナ禍、物価高などで生活が一層厳しさを増していますが、岸田政権は、軍備拡大に多額の税金を投入し続けています。社民党は「税金はくらしに！軍拡ＮＯ！」をスローガンに、憲法改悪を許さず、格差と貧困の解消、年金・医療・教育・子育て充実のために次期衆院選を闘います。皆様の力強いご支援を切にお願い申し上げる次第です。

安心して働き、人々がともに生きる共生社会、憲法の基本理念を活かし、平和と人権、いのちの尊厳が守られる社会と政治をめざして、ともにがんばりましょう。本年もどうぞよろしくお願いいたします。

衆議院議員
山田　勝彦

明けましておめでとうございます。

髙藤会長をはじめ、連合長崎の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年は、統一地方選や長崎4区補欠選挙におきまして、多大なるご支援を賜り、心より感謝申し上げます。

さて、連合の皆様のご尽力により、長崎県の最低賃金も大幅に引き上げられました。しかしながら、未だに多くの生活者が物価高に苦しめられています。早急に、「物価高に負けない持続的な賃上げ」を実現しなければなりません。経済の好循環に向け、今年の春闘での皆様のご活躍を全力で応援しております。

私たち立憲民主党は、働く人たちの流した汗が報われる「まっとうな社会」をつくるため、これからも現場の皆様の声を国政へ届け、最低賃金1500円の実現に向け「賃上げ改革」に取り組みます。引き続きのご支援をお願い申し上げます。

結びに、連合長崎の益々のご発展と、組合員の皆様とご家族様のご健勝とご多幸を心よりお祈り申し上げます。

長崎県退職者連合
会長 **池田　　篤**

新年明けましておめでとうございます。

連合長崎の皆様には、日頃より長退連の活動にご支援ご協力をいただき厚く感謝を申し上げます。

長退連は昨年11月に定期総会を開催し、「人生100年時代」の到来にむけ、新たな体制で活動をスタートいたしました。とりわけ、団塊世代が75歳になる2025年は国民の５人に１人が75歳以上になり、2040年には高齢者人口(65歳以上)がピークを迎え「超・超高齢社会」になると言われています。国は「全世代型社会保障検討会議」を立ち上げましたが、医療費や介護保険料の負担増加とともに、年金の抑制など高齢者にとって厳しいことが予想されます。

このため、安心した老後を過ごすために、全国の仲間とともに退職者会の活動を強め、現・退一致で組織拡大や社会保障制度の改善、選挙闘争などの取り組みを進めてまいります。

本年が皆様にとって素晴らしい年となることを祈念し、新年のご挨拶といたします。

長崎県知事
大石　賢吾

新年明けましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年を振り返ってみますと、９月に開業１周年を迎えた西九州新幹線は、多くの方にご利用いただくとともに、駅周辺の再開発など沿線市のまちの佇まいも大きく変わり、県内に新たな賑わいをもたらしております。

また、海外との交流におきましても、５月のＧ７長崎保健大臣会合以降、国内外における本県の知名度が向上する中、私も８月にベトナムを訪問し、本県への人材支援を一層進めることを確認するなど、各国・地域との協力関係を強化することができました。

県では、県民の皆様が本県に誇りや未来への期待感を持ち、本県が国内外に存在感を示していけるよう、「未来大国」をコンセプトとするビジョンの策定を進めております。本年は、ビジョン実現に向けた部局横断・融合的な取組を強力に推進するとともに、様々な立場の方々に共感をいただきながら、県政にも積極的にご参画していただいたうえで、各分野の施策の有機的な連携を図り、相乗効果を発揮させてまいりたいと考えております。

社会全体のデジタル化など、時代は目まぐるしく変化しております。私は、こうした変革の機会をチャンスと捉えており、何事にも積極的に挑戦していくことが重要と考えております。また、昨今、山積する課題が注目を集める傾向にありますが、本県の持つ多くの可能性に目を向けることも重要です。

ビジョンに示す「未来大国」のコンセプトは、明るい未来に向け県民の皆様と一緒になって進んでいこうという思いを込めています。

ぜひ、一緒に未来に向けて踏み出していきましょう。

結びに、本年が皆様にとりまして、輝かしい年となりますよう心からお祈り申し上げます。

長崎大学との寄附講座の協定書締結式及び贈呈式実施

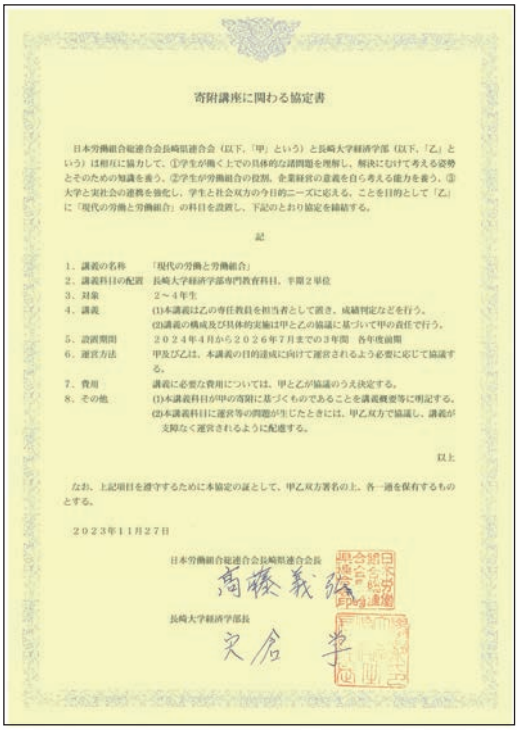
学生に労働組合の役割を求めて

2023年11月27日(月)長崎大学経済学部にて寄附講座の協定締結式及び贈呈式を行いました。寄附講座は次世代を担う長崎大学の学生に対して、労働の在り方や労働組合の役割に理解を深め、職業意識を高めてもらうことが目的で、毎年4月から7月末までの約4か月で15講座を実施予定です。

この協定は、2014年に初めて締結され、以来同講座が開講されてきましたが、協定の期限が2023年7月31日で満了したことから、今回、協定を更新することとなりました。この更新により、引き続き寄附講座が経済学部の授業として提供されることとなります。

講座では、労働の現場に精通する労働組合役員をはじめ、長崎県、長崎市、長崎労働局、弁護士の方々を講師に招き、わが国の労働の現場における様々な課題や、現場の生きた情報や課題、そして行政と労働組合の役割について講義を行います。

髙藤会長からは、「経済学部の学生は、今後社会で労働者として働く側だけでなく、経営者、リーダーとなる可能性もあるので、基礎的ではあるが、知識を養う機会を今後も提供していく」というコメントがありました。



寄附講座に関わる協定書

日本労働組合総連合会長崎県連合会（以下、「甲」という）と長崎大学経済学部（以下、「乙」という）は相互に協力して、①学生が働く上での具体的な諸問題を理解し、解決にむけて考える姿勢とそのための知識を養う。②学生が労働組合の役割、企業経営の意義を自ら考える能力を養う。③大学と実社会の連携を強化し、学生と社会双方の今日的ニーズに応える、ことを目的として「乙」に「現代の労働と労働組合」の科目を設置し、下記のとおり協定を締結する。

記

1．講義の名称　「現代の労働と労働組合」
2．講義科目の配置　長崎大学経済学部専門教育科目、半期２単位
3．対象　２～４年生
4．講義　(1)本講義は乙の専任教員を担当者として置き、成績判定などを行う。
(2)講義の構成及び具体的実施は甲と乙の協議に基づいて甲の責任で行う。
5．設置期間　２０２４年４月から２０２６年７月までの３年間　各年度前期
6．運営方法　甲及び乙は、本講義の目的達成に向けて運営されるよう必要に応じて協議する。
7．費用　講義に必要な費用については、甲と乙が協議のうえ決定する。
8．その他　(1)本講義科目が甲の寄附に基づくものであることを講義概要等に明記する。
(2)本講義科目に運営等の問題が生じたときには、甲乙双方で協議し、講義が支障なく運営されるように配慮する。

以上

なお、上記項目を遵守するために本協定の証として、甲乙双方署名の上、各一通を保有するものとする。

２０２３年１１月２７日

日本労働組合総連合会長崎県連合会会長　髙藤義弘

長崎大学経済学部長　宍倉学

連合 愛のカンパ

地域助成支援団体（事業）募集！

「連合・愛のカンパ」は、人道主義の立場から「自由、平等、公正で平和な世界の実現」に向け、社会貢献活動として取り組むものであり、NGO・NPO団体等の事業・プログラムへの支援、および自然災害等による被災者に対する救援・支援を目的としています。

今回、地域助成支援団体（事業）を、下記の通り募集いたします。

【地域助成対象資格】

○連合組合員及びその家族、ＯＢ（家族を含む）が積極的に運営に参加しているＮＧＯ・ＮＰＯ団体等が行う具体的事業プログラム。

○連合長崎構成組織、地協・ブロックが日常的な活動で連携しているＮＧＯ・ＮＰＯ団体等が行う具体的事業プログラム。

【対象となる活動】

○大規模災害などの救援・支援活動
○戦争や紛争による難民救済などの活動
○人権救済活動
○地球環境保全活動
○ハンディキャップをもった人たちの活動
○教育・文化などの子どもの健全育成活動
○医療や福祉などの活動
○地域コミュニティー活動
（レクリエーション活動を除く）
○生活困窮者自立支援活動

【募集期間】

○2024年１月９日（火）～３月29日（金）まで

【お問い合わせ】

○具体的な内容等について、不明な点は連合長崎までお問い合わせ下さい。

今年度連合長崎では、以下の団体を地域助成団体とし、10月19日（木）に開催した第29回定期大会において、皆さまからいただいたカンパ金の贈呈式を執り行いました。

支援団体名	事業目的	代表者	助成金額
認定ＮＰＯ法人 心澄（しんじょう）	不登校やひきこもり等で生き難さを抱える当事者への訪問相談や様々な相談者のニーズに合わせた活動	理事長 宮本　鷹明	200,000 円
諫早ペンギンクラブ	水泳を通じ、障がい者がスポーツを楽しみ、健康増進と交流をはかるとともに、社会参加と共生社会の実現に向けて活動する。	代　表 池田　　篤	200,000 円

認定ＮＰＯ法人　心澄（しんじょう）

諫早ペンギンクラブ

連合 愛のカンパ

※助成団体の一部を紹介します〈順不同〉

中央助成

海外や国内で救援・支援活動に取り組んでいるNGO・NPO等の事業・プログラムが対象で、連合に加盟する産業別組織（構成組織）から推薦された団体。

特定非営利活動法人日本ボランティアセンター（JVC）
パレスチナ・ガザ地区における子どもの栄養失調予防と改善

特定非営利活動法人タイガーマスク基金
児童養護施設等の社会的擁護支援出身児童への大学進学支援

特定非営利活動法人在日外国人教育生活相談センター・信愛塾
日本に居住する外国人の教育生活相談

一般社団法人難民ナウ
在日ミャンマーコミュニティの平和を求める活動に関する社会的認知度の向上

認定特定非営利活動法人日本レクダンス協会
車椅子レクダンスを活かしたボランティア活動促進

地域助成

連合組合員およびその家族、あるいは連合組合員OB・OGが、運営に参加している、または地方連合会（連合の地方組織）が日常的な活動で連携しているNGO・NPO等の事業・プログラムが対象で、地方連合会から推薦された団体。

ほっかいどう若者応援プロジェクト
大学生のコミュニティの場・社会貢献活動の場

特定非営利活動法人アース・コミュニケーション
持続可能な環境や社会づくり

特定非営利活動法人ぐんま若者応援ネット（アリスの広場）
不登校やひきこもりなどの若者の居場所の提供

認定特定非営利活動法人子どもの森
地域コミュニティーによる耕作放棄地の活用

青森県チェアスキー協会
チェアスキー・バイスキー教室

― あけましておめでとうございます ―

副 会 長
菊永　昌和
（自治労）

副 会 長
長岡　英樹
（ＵＡゼンセン）

副 会 長
中川　俊紀
（基幹労連）

副 会 長
川内ひろこ
（ＪＰ労組）

副 会 長
堀江　信也
（電力総連）

副 会 長
川田　隆往
（電機連合）

副 会 長
山口　裕志
（運輸労連）

事務局長
岩永　洋一
（ＪＰ労組）

副事務局長
種村　和久
（自治労）

副事務局長
中嶋　聖子
（自治労）

副事務局長
縄本　恵太
（基幹労連）

副事務局長
西野　輝夢
（電力総連）

執行委員
江島　浩介
（自動車総連）

執行委員
椎山　和久
（国公連合）

執行委員
白下　潤一
（フード連合）

執行委員
野原　秀昭
（交通労連）

執行委員
井手　教博
（情報労連）

執行委員
漢那　太作
（海員組合）

執行委員
田平　賀一
（自治労連）

執行委員
山下　和英
（日教組）

執行委員
本多　典雄
（私鉄総連）

執行委員
豊増　悟司
（ＪＲ連合）

執行委員
高比良　大
（全労金）

執行委員
森　　忠吉
（全自交労連）

執行委員
東　　昌幸
（長崎電気軌道労組）

執行委員
塩田　淑文
（長崎地協）

執行委員
瀬上　徳博
（佐世保地協）

執行委員
入江　良美
（諫早・島原地協）

執行委員
川本　良美
（大東・壱岐・対馬地協）

執行委員
松山　忠敏
（五島地協）

執行委員
横田　草子
（フード連合）

執行委員
森野しのぶ
（女性委員会・日教組）

会計監査
村田　元輝
（自治労）

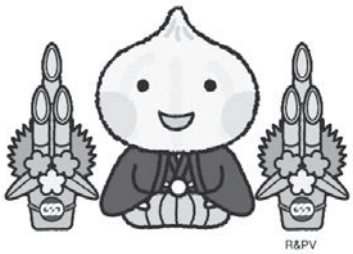
会計監査
橋田　和廣
（交通労連）

会計監査
淺井　健汰
（全労金）

書　記
深江　絵美
（連合長崎）

書　記
草野いづみ
（連合長崎）

オルガナイザー
宮崎　辰弥
（連合長崎）



２０２４年
皆さんとともに頑張ります！
よろしくお願いします。